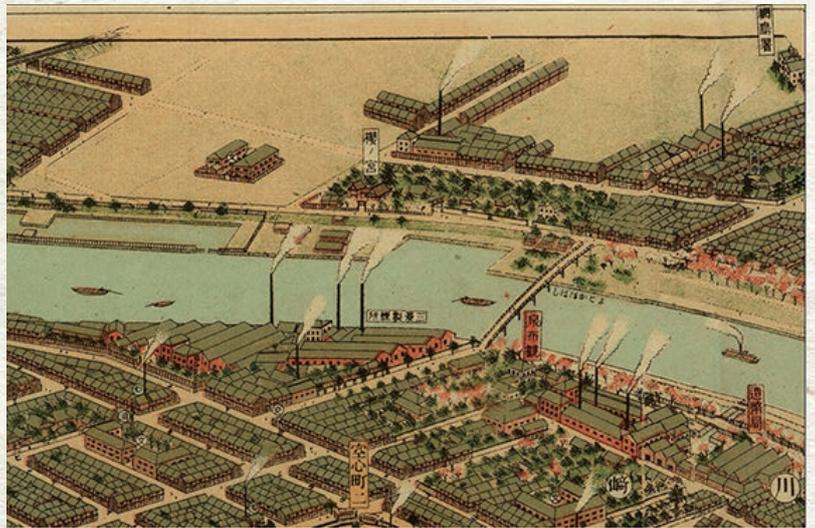


大坂の記録、大阪の記憶

～描かれた大坂と今、大阪という土地の記憶と今～



「上」『櫻ノ宮』
大阪市バラマ地区より
大阪くらしの今昔館蔵

「左」国員
『浪華百景 さくららの宮』
大阪市立中央図書館蔵（同館
デジタルアーカイブ）



日時 2019年3月31日（日）13:30～16:00

於 大阪市立住まい情報センター3階ホール

定員 100名（申込先着順）

報告者 天野 景太（大阪市立大学文学研究科准教授、観光学）

酒井 裕一（大阪くらしの今昔館ミュージアムボランティア 町家衆）

菅原 真弓（大阪市立大学文学研究科教授、日本美術史・文化資源学）

松井 恵麻（大阪市立大学大学院、地理学・文化資源学）

【お問い合わせ】
大阪市立大学大学院文学研究科 菅原真弓
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 FAX 06-6605-2374
Mail sugawara@lit.osaka-cu.ac.jp

主催：大阪市立大学大学院文学研究科
共催：大阪市立住まい情報センター

参加費
無料

参加申し込みはこちらから



※申込方法は裏面をご覧ください

江戸時代には既に大都市であった大阪（大坂）の街とその周辺を絵入りで描いた記録は、古くは『摂津名所図会』『和泉名所図会』（共に寛政8年/1796）、『河内名所図会』（享和元年/1801）などがあります。カラー版の記録としては、広重の浮世絵版画「浪花名所図会」（天保5年/1834）が最も早く、また上方浮世絵師国員、芳瀧、芳雪によって描かれた幕末の浮世絵シリーズ「浪花百景」に描かれたイメージは、私たちにとって馴染みの深いものです。

一方、そこで描かれた大阪の街が、時代の変化に伴って絶え間なくその姿を変えながら、今も私たちの生活の場として、あるいは生活の傍らにあることは言うまでもありません。本シンポジウムでは大阪という街の昔と今を、「記録」と「記憶」をキーワードとして様々な角度から検討していきます。

お申し込み方法

- ・下の申込書に必要事項を記入して、FAX もしくは郵便でお申し込み下さい。定員に達し次第、締め切ります。参加証は送付しませんので、参加お申し込み後、特に連絡がない場合は直接会場にお越しください。
- ・「住まい・まちづくり・ネット」サイトからお申し込み頂けます。 <https://www.sumai-machi-net.com/>
※チラシ表面のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み取って頂けると、申込サイト画面が表示されます。

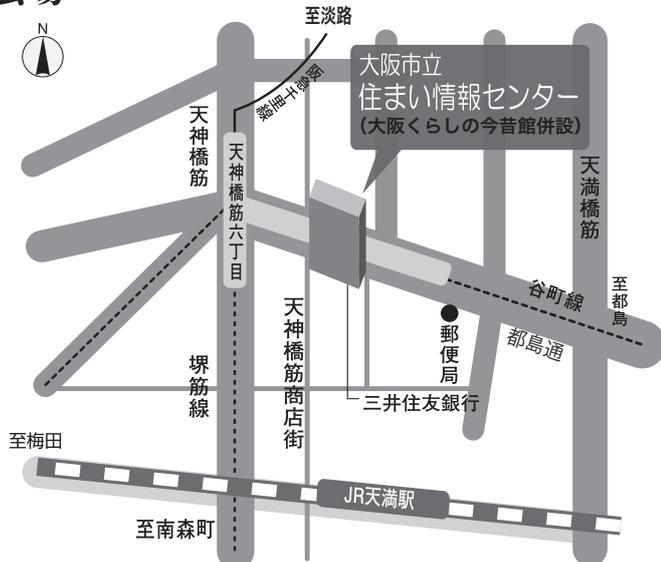
お申し込み

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学文学部菅原研究室気付「シンポジウム」係
FAX 06-6605-2374

注意事項

- ※遅刻されますと他の参加者の迷惑になりますので開始時刻までに会場へお越し下さい。
- ※当日キャンセルはご遠慮願います。資料の準備がありますので、ご都合で参加できない場合は早めにご連絡ください。
- ※午前11時00分の時点で「暴風警報」が発令されている場合は、中止とさせていただきます。
- ※お申し込み時にご記入いただいた個人情報は、この事業に関するご連絡のみに使用します。
- ※その他、やむを得ない状況により、セミナーを中止する場合がございます。その場合は「住まい・まちづくり・ネット」等でお知らせします。

会場



- ◆Osaka Metro 谷町線・堺筋線「天神橋筋六丁目」駅3号出口をご利用ください。
- ◆JR 環状線「天満」駅からは北へ約650mです。

シンポジウム「大坂の記録、大阪の記憶」 申込用紙 (3/31)

ふりがな	年齢	
氏名		
住所	〒	
電話		

- ※ハガキで申し込まれる方は、この用紙をハガキに貼ってご送付いただけます。
- ※住所が同じで複数人で申し込まれる場合は、連名でご記入ください。